

2019/10/6 第92回日本社会学会大会 @東京女子大学

## 憲法改正・政権支持等に関する ネット利用の〈極性化〉効果の検証

政治・社会意識と情報行動に関する共同実証研究 (2)

辻 大介 (大阪大学)

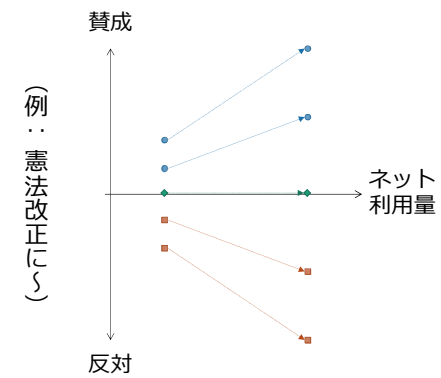
### 【本報告の目的】

ネット利用による意見・態度の極性化を  
サーベイデータを用いて  
適切な分析手法により (辻・北村 2018, 辻・齋藤 2018)  
検証する

### 今回の検証のポイント

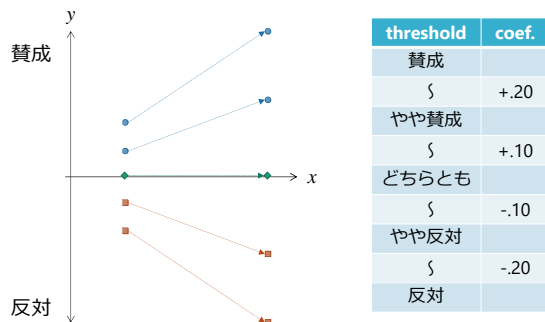
- ネット利用は意見・態度を分極化するか、それとも、一様に一方向へ変化させるか
- 先有傾向が中庸的な層に対して、ネット利用は (どちらの向きへの) 効果をもつか

### 【世論の分極化の概念図】



### 【一般化順序プロビットによる分析】

この場合、ネット利用量  $x$  の係数値はたとえば右のようになる



### 用いるデータ

- 2018年11月13～22日実施のウェブ質問紙調査
- 17～65歳男女、5181ケースの有効サンプル
  - うち、2017年第1波調査の継続サンプル 2672ケース
- Stata15.1 の gologit2 コマンド (Williams 2006) で分析、属性変数 (性別、年齢、教育年数、経済状況) とサンプル弁別変数には平行性を仮定
  - 有意性の検定はロバスト標準誤差による

### 投入する独立変数、統制変数

- ネット利用量 (PC/スマホでの1日のネット利用時間を合算して対数変換)、テレビ視聴量、新聞講読量
- 性別 (女性ダミー)、年齢、教育年数、主観的経済状況 (暮らし向きに「余裕がある」～「苦しい」)
- 継続/新規サンプル弁別ダミー変数 (継続=1)
- 政治関心 (「ふだんから政治に対して関心がある」)
  - Benett & Iyenger (2008) によれば、政治関心が低い層は政治的態度面でネットの (極性化) 効果を受けにくい

### 【分析結果1a】 →詳細は配付資料の表1

#### 「安倍内閣を支持しますか」

(n=4959)	不 支 持	～ や や 不 支 持	～ ど ち ら と も	や や 支 持 寄 り に 支 持
ネット利用量	-0.033	.008	.060*	.126**
テレビ視聴量	.020*	.017*	-.006	-.029*
新聞講読量	-.013*	.016*	.001	.014
政治関心		中庸化効果 -.19	.223***	.290***

(内閣支持について「答えたくない」222ケースは分析から除外)

【分析結果1b】

各政治的イシューに対するネット利用の効果

	反対	～	やや反対	～	中庸層の態度を概ね右派寄りに	形成
憲法改正	n.s.		n.s.		+	++
自衛隊明記	n.s.		+		+++	+++
移民受け入れ	---		---		n.s.	n.s.
原発再稼働	n.s.		n.s.		++	+++
赤字削減優先	-		-		n.s.	++

分極化効果

符号の数は3つがp<.001, 2つがp<.01, 1つがp<.05の有意性を表す (いずれも「答えたくない」と回答したケースは分析から除外)

【分析結果2a】 →詳細は配付資料の表2

「好きですか嫌いですか」 = 安倍晋三

	嫌い -2 -3	～	-1	～	0	中庸層の態度も分極	好き +2 +3
(n=5181)							
分極化効果							
ネット利用量							
テレビ視聴量							
新聞講読量							
政治関心							

分極化効果

中庸層の態度も分極

【分析結果2b】

各政治家・団体に対するネット利用の効果

	嫌い -2 -3	～	-1	～	0	中庸層の態度を嫌悪方向に	+2 +3
分極化効果は自民党のみ							
自民党	---		-		n.s.	+	
立憲民主党	---		---		---	n.s.	
石破茂	---		---		---	n.s.	
玉城デニー	---		---		n.s.	n.s.	
脱原発市民団体	---		---		n.s.	n.s.	

分極化効果は自民党のみ

中庸層の態度を嫌悪方向に

符号の数は3つがp<.001, 2つがp<.01, 1つがp<.05の有意性を表す (いずれも「答えたくない」と回答したケースは分析から除外)

ここまでの結果の整理

- ネット利用の中庸層への効果
  - 政治的イシューに関しては、概ね右派的な方向へ
  - 政治家・団体の好悪については、嫌悪の方向へ
    - ※ テレビ・新聞は、必ずしも嫌悪一方への効果ではない
- ネット利用の分極化効果
  - 安倍内閣支持にはみられず、安倍首相好悪にはみられた
- (好悪の) 感情が分極化の「フック」に？

### 内閣支持／首相好悪について IV（操作変数）法で因果推論

- 操作変数に可処分時間を用いる
- ネット利用⇒内閣支持の場合
  - 可処分時間⇒ ネット利用時間⇒ 内閣支持
  - 可処分時間と内閣支持に見かけ上の相関が生じる
- 内閣支持⇒ネット利用の場合
  - 可処分時間⇒ ネット利用時間 ⇐内閣支持
  - 見かけ上の相関は生じない

### IVプロビットでの分析結果

- 安倍内閣支持
  - 「支持」を1 / 「どちらかといえば支持」以下を0
  - ネット利用量の係数値は+.069,  $p=.32$  で **非有意**
- 安倍首相好悪
  - 「好き」(+2以上)を1/それ以外を0 ... +.149,  $p=.03$
  - 「嫌い」(-2以下)を1/それ以外を0 ... +.179,  $p=.01$
  - いずれも **有意** 《ネット利用⇒好悪分極化》

### 結びに代えて

- ネット利用による分極化・極性化は、リベラル-保守、左派-右派といった大枠の対立軸ではとらえきれそうにない。まずは個別の 이슈・態度ごとに検証すべき
- 感情レベルと思想レベル（認知科学でいうシステム1とシステム2）に分けて検討する必要もあるだろう
- 明日、本調査（無作為抽出・全国）が最終完了するのでそのデータによる再検証が喫緊の課題

### 参考文献

- Benett, W.L. and Iyenger, S., 2008, A new era of minimal effects? The changing foundations of political communication, *Journal of Communication*, 58(4), pp.707-731.
- Williams, R, 2016, gologit2 documentation updates. (<https://www3.edu/~rwilliam/gologit2/gologit2.pdf>)
- 辻大介・北村智, 2018, 「インターネットでのニュース接触と排外主義的態度の極性化——日本とアメリカの比較分析を交えた調査データからの検証」, 『情報通信学会誌』 36巻2号, pp.99-109.
- 辻大介・齋藤僚介, 2018, 「ネット利用による意見・態度の〈分極化〉を検証する」第91回日本社会学会大会一般研究報告.

表 1 安倍政権の支持-不支持を従属変数とした一般化順序プロビット分析の結果

閾値 ▶ (n=4959)	不支持～やや不支持			やや不支持～どちらとも			どちらとも～やや支持			やや支持～支持		
	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>
ネット利用量(対数)	-0.033	(0.026)	-1.27	0.008	(0.025)	0.32	0.060 *	(0.026)	2.31	0.126 ***	(0.038)	3.33
テレビ視聴量	0.020 *	(0.010)	1.97	0.017 †	(0.010)	1.810	-0.006	(0.010)	-0.600	-0.029 *	(0.013)	-2.260
新聞講読量	-0.013 †	(0.008)	-1.73	-0.016 *	(0.007)	-2.250	0.001	(0.008)	0.130	0.014	(0.010)	1.440
政治関心	-0.064 **	(0.020)	-3.15	-0.019	(0.019)	-0.97	0.223 ***	(0.020)	10.98	0.290 ***	(0.027)	10.55
女性ダミー	-0.208 ***	(0.032)	-6.47	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
年齢	-0.010 ***	(0.001)	-7.91	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
教育年数	-0.006	(0.008)	-0.67	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
主観的経済状況	0.173 ***	(0.016)	11.07	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
サンプル弁別ダミー	-0.003	(0.032)	-0.08	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
[定数項]	1.224 ***	(0.187)	6.54	0.602 ***	(0.181)	3.33	-1.104 ***	(0.184)	-6.01	-2.264 ***	(0.218)	-10.4

Nagelkerke  $R^2 = .124$

( \*\*\* p<.001, \*\* p<.01, \* p<.05, † p<.10 の有意性)

表 2 安倍首相に対する好悪を従属変数とした一般化順序ロジット分析の結果

閾値 ▶ (n=5181)	嫌い [-3, -2]～[-1]			[-1]～[0]			[0]～[+1]			[+1]～[+2, +3] 好き		
	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>	<i>b</i>	( <i>S.E.</i> )	<i>Z</i>
ネット利用量(対数)	-0.064 *	(0.025)	-2.54	-0.043 †	(0.024)	-1.81	0.053 *	(0.026)	2.01	0.080 *	(0.033)	2.39
テレビ視聴量	0.018 †	(0.010)	1.83	0.011	(0.009)	1.180	-0.008	(0.010)	-0.750	-0.029 *	(0.012)	-2.310
新聞講読量	-0.021 **	(0.007)	-2.87	-0.029 ***	(0.007)	-3.980	0.019 *	(0.008)	2.420	0.022 *	(0.010)	2.280
政治関心	-0.082 ***	(0.020)	-4.06	-0.066 ***	(0.019)	-3.48	0.249 ***	(0.022)	11.51	0.330 ***	(0.028)	11.87
女性ダミー	-0.187 ***	(0.032)	-5.82	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
年齢	-0.010 ***	(0.001)	-8.31	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
教育年数	-0.013	(0.008)	-1.63	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
主観的経済状況	0.147 ***	(0.015)	9.66	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
サンプル弁別ダミー	-0.003	(0.032)	-0.09	[ ← same value ]			[ ← same value ]			[ ← same value ]		
[定数項]	1.627 ***	(0.180)	9.03	1.269 ***	(0.175)	7.23	-1.310 ***	(0.181)	-7.23	-2.102 ***	(0.203)	-10.33

Nagelkerke  $R^2 = .132$

( \*\*\* p<.001, \*\* p<.01, \* p<.05, † p<.10 の有意性)